

いながわ 特派員報告



高橋 祐子 田野 香織



収穫

の秋を迎えて

中央付近の稲がなぎ倒され食い荒らされていきます。農作業姿の男性たちが「イノシシだな」と話しながら、水田に入っ

豊かに穂が実った
ある水田しかしし...



中央付近の稲がなぎ倒され食い荒らされていきます。農作業姿の男性たちが「イノシシだな」と話しながら、水田に入っ

農業の万が一に備える「農業共済」

て見たりと色々な視点から水田を調査します。男性たちは、町長から任命された損害評価委員(以下「評価委員」)で、現在9人が活躍中です。

損害の内容と程度を決める評価委員

現場では、評価委員が田や稲を観察し



この日は町内6件の水田を回りまし

加味さんご一家の稲刈り取材

3世代で朝から稲刈りです。「今年



被害に苦しめられたり、稲刈り直前に台風が来て水田が水浸しのう

忙しい日々のご褒美は自分で作ったお米

教えて！ 損害評価委員さん

今回は、イノシシやシカによる被害が主

農業共済は農家が互いに助け合う制度です
公平性と客観性で厳密に評価しています

から農家の自己負担になります。評価には、「管理や対策は十分か？」といった自助努力の有無も加味します。

編集後記

加味さんのコンバインに乗せていただいて、一面の金色の稲穂を刈り取りながら、農家の皆さんが数々の苦勞を超えて収穫の日を迎えていらっしゃることをかみしめました。

猪名川産の新米入荷しています JA猪名川と道の駅いながわで購入できます

JA兵庫六甲猪名川営業支援センター長の田中薫さんに取材しました



もみすじの新米の袋詰め作業

安全でおいしい猪名川産の米は、ここJA猪名川と道の駅いながわで購入できます。川西方面からも多くの人が買いに来られます。米本来の味と香りがして「ご飯って本当はこうなんだ」と実感いただけるかと思